

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	天塩町			代表者名	吉田 忠
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画商工課	連絡先電話番号	01632-2-1729
担当者役職	まちづくり推進係長	担当者氏名	小林 一崇	連絡先E-mail	
住所	098-3398 北海道天塩町新米通8丁目1466-113				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	想いをカタチにするための実現力講座		
概要	DXをツールとして活用し「変化を提案」できる人材育成を目的とした職員研修会				
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 働き方				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年10月5日	講演(実地)	8時30分	16時00分	45
				活動時間(分)	405
2-2. 派遣場所	会場名	てしお温泉「夕映」コワーキングスペース		最寄駅	天塩バス停
	所在地	天塩町字サラキン5807番地の4		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	池田 昌人
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	昨年度は、当町の係長職以下を対象に研修いただき、大変好評であった。これまで培ってきた技術や知識を自分の経験談を踏まえながら説明されていたため、だれにでも理解できる研修内容であり、かつ、官民関係なく活用できるフレームワーク及びマインドセット醸成が図られ、管理職のスキルアップ及びマネジメント能力の向上につながった。研修会参加者アンケート実施結果においても、87%が満足していると回答していることから、高評価が確認できる。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	18人
	属性	企業・団体	その他(学生など)
	自治体職員	住民	
	人数	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	令和5年度に係長以下一般職を対象とし、「想いをカタチにするための実現力講座」をテーマとする、DX-変革-に対応するマインドセット醸成研修会を実施した。地方へのデジタル技術の実装が進展するなど、社会情勢が多岐な変化を迎える中で、役職間における知識・意識の格差が見られることから、組織的な機運醸成とDXをツールとして活用し「変化を提案」できる人材育成(管理職向け)が課題となっている。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">DXの前提である「変化するための必要事項」など基礎的な知識の向上ビジネスにおける基本フレームを活用した企画力の向上職員の仕事に向き合う意識改革及び意欲の向上(前年度は係長以下が対象)組織マネジメント能力の向上DXを進める上での組織的な機運醸成

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ChatGPTなど昨今の情勢を踏まえたDXに関する基礎的な説明 企画提案する相手への意識改革 効果分析表などのツールを活用した企画提案方法 概要書などの作成方法 目標やビジョンの考え方や達成する手法 仕事への向き合い方や意識改革 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	DXに関する基礎的な知識の向上や民間で一般的に使われている企画提案フレームの活用方法など、DX情勢の理解や物事を進める手法を学び、職員のスキルアップへと繋がった。また、普段のコミュニケーションから相手をへの提案方法を考えること、向き合う意識や目標に向かって取り組む姿勢などの意識改革、前に進むための考え方を学ぶことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 行政改革「窓口改革チーム」が結成され、人口や職員が減少する中で、オムニチャネル化やAIの活用などを視野に、当町の窓口の最適化を図る検討体制が構築された。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添資料のとおり	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある 行政改革「窓口改革チーム」が結成され、人口や職員が減少する中で、オムニチャネル化やAIの活用などを視野に、当町の窓口の最適化を図る検討体制が構築された。今後、本チームにおいて窓口DXの検討が進められる。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DXをツールとして活用した「変化を提案」できる一般職員育成及び管理職含む推進体制の構築	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可
 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

